

杜の里 街づくりニュース

平成11年4月発行

今後のまちづくり

金沢市若松・鈴見地区土地区画整理組合 まちづくり委員会

委員長 瀧 建憲三

昭和60年に本組合が発足してからすでに足掛け14年となり、構想・計画でしかなかった「まちづくり」が現実のものとなってきています。

しかし、宅地率が50%を大きく越えている本地区の状況は、「まちづくり」に関して一つの節目を迎えているのではないのでしょうか。

田上第五地区、田上本地区の土地区画整理事業が始まり、本地区を含めた大学門前街づくり協議会が大学門前街全体のまちづくりマスタープランを検討しております。

一般的な行政の基本計画も、10年間をほぼ目標年次におき、5年毎に見直しをしています。

本地区を取り巻く環境が10年前と現状では大きく異なってきていることは言うまでもないことですが、田上第五地区、田上本町地区と差別化（個性化）を図りながら、全体として魅力ある地域としていくために、もう一度まちづくりを考えていかなければならないと考えております。

【交通網の変化】

鈴見・新庄線、東部環状道路については、これまで本地区内で行き止まりの道路でしたが、今後10年で全線開通するはずですし、これに伴って本地区内の通過交通量は大幅に増加します。

これまで本地区を目的としていた交通が、単なる通過交通を主体とした流れになるということです。

これにどう対応し、本地区を目的とする交通をいかに確保していくかを考えていく必要があると思います。

【植栽の維持】

平成11年度には本地区全体のセットバックに対する植栽事業も終了する予定ですが、せっかくの植栽も管理者不在では枯れていくのを待つばかりとなってしまいます。集合住宅の多い本地区では、オーナーがこれらの植栽を管理していくことは難しいと思いますし、どうすれば植栽の管理を継続させ、美しい緑豊かな本地区の個性を維持できるかを考えていかなければなりません。

【まちづくり組織】

昨年は多くのまちづくり組織の方々と直接お会いし、まちづくりに対する考え方、問題点をお聞きしました。

その中で共通して聞くことのできたのは、中心となって活動していく「組織」の必要性和集まれる「場所」の確保の必要性についてでした。

地区計画の運用、ゴミ問題、コミュニティ問題、緑化保全など多くの継続しなければならない問題を中心となって検討し、処理していく「組織」と、そのことを話し合う「場所」が必要であるというものです。

そのためには組織を継続させていく「費用」や場所の維持費が必要ですが、この点についても真剣に検討を進めていかなければなりません。

【新たな魅力付け】

これからのまちづくりは、これまでの「まちづくり」を資源とし守っていくことが最低限必要ですが、「まち」は変化する生き物であるということ認識しなければならないということです。

その「変化」を沈滞化に向かわせるのではなく、活性化としなければ、中心市街地に見られるような「空洞化」は本地区にも必ず起きます。

「老舗はただ古いだけでなく、挑戦しつづけてきた結果、老舗となっている」という言葉があります。

新しい本地区の魅力を模索し、絶え間ない努力があつてこそ、将来とも生き生きとした街が維持されるものと思います。

キレイな住宅②

悩める子供たちを救うために設計でできることー

CASE1 (NAK HOUSE)

10畳の土間が結ぶ親子の対話

家族構成

夫婦 + 長男11歳、長女7歳

省エネルギー

千葉県成田市の成田ニュータウンは、新東京国際空港に勤務する職員が多く住む新興住宅地。「NAK HOUSE」の建築主である中津川孝志氏もその一人だ。

中津川氏は職業柄、5日に1回は夜勤をする。そして夜勤明けの平日の昼間などには、家族と一緒にこの時間を有効に利用して、テニスやキャンプ、サイクリングなどを楽しんでいる。このようなライフスタイルが設計に大きな影響を与えた。

土間で趣味を生かす

「家族の趣味を生かす部屋が欲しい」。中津川氏の要望に、設計者の小磯一雄氏（KAZ建築研究所）は「部屋」ではなく、「土間」でこたえた。1階の中心に設けた10畳の土間は、すべての部屋へ至る動線上にある。また踏地状でないので、溜まり場ともなる。

小磯氏の提案は中津川氏に好感をもって受け入れられた。竣工後、自転車の修理やオーディオいじり、木工作成など、土間は中津川家には欠かせない趣味の部屋となった。

1階には土間を取り囲むように、寝室、子供部屋、納戸、浴室などを配置した。土間の中央部には2階へ上がる螺旋階段があり、屋根勾配を表わした天井まで吹き抜けている。

それぞれの部屋にはスリッパを履かなければ行くことができない。面倒に思えるが、「子供たちは階段からジャンプして自分の部屋に飛び込んでいる」（中津川氏談）。不便さを逆手に取って楽しんでいるようだ。また「部屋を移動するときの気持ちの切り替えができる」という効果もあるという。

設計段階では、土間から階段を土足で上がって、2階で靴を脱

ぐように計画していた。しかし、施工中、工事関係者が1階の階段の手前で靴を脱ぐようにしていたので、それがそのまま習慣となってしまった。2階の階段踏み場に設置していた下足箱は、普段使わない靴の収納に充てている。

2階はリビング、ダイニング、キッチンなどの共用空間とした。リビングとダイニングは、中央にある階段で分断されてしまうが、視線や気配を感じられるように開口を設けた。キッチンはリビングとダイニングが見渡せる位置に配置した。

このようなけいはいを感じる工夫は、1階に取り入れられている。土間に面した壁の上部をすべてガラス張りの欄間としたのはそのためだ。土間と2階は階段で空間がつながっているのに、上下の隔たりを感じさせない。

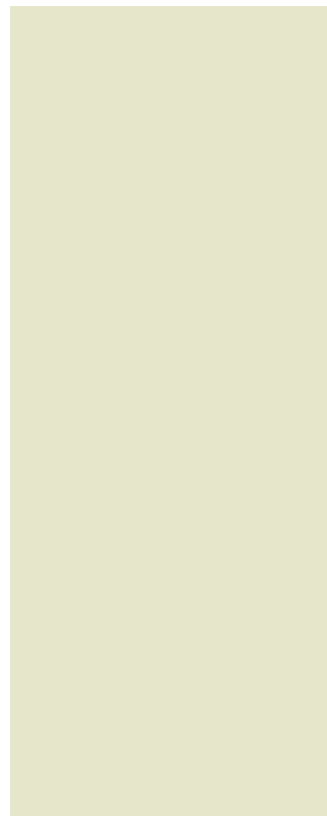
必ず通らなければならない土間

中津川家では、この土間を広場として使っている。「以前住んでいたマンションは、バルコニーを趣味の場としていたので、家族が集まりにくかった。しかし土間は家の中心にある。冬場は特にトップライトから降り注ぐ太陽光を求めて、家族が自然と集まる」（中津川氏）という。

さらに中津川氏は「ストレスを発散するために子供が部屋に閉じこもるのは仕方がないと思う。そのためにも、必要に応じて顔を合わせる事ができるオープンスペースが欲しかった。日々のコミュニケーションを積み重ねていけば、子供がキレることを避けられるのではないかと話す。

家族と話したいとき、ドアを開ければ土間がある。土間は個人と家族をつなぐ結節点になっている。





車いすの人のロフトからダイニングを見下ろす



リビングから階段越しにダイニングを見る。階段の開口は空欄のため、手すりをつけず。床面にはトップライトを設置

金沢市若松・鈴見地区
土地区画整理組合

組合事務所

石川県金沢市若松町37街区10番地

電話 076(222)7730

Fax 076(262)0026

金沢 杜の里



ホームページ
もごらんください。
<http://www.neting.or.jp/morinosato/home.html>

シリーズ「相続⑩」



子が2人の場合は $1/2 \times 1/2 = 1/4$ となります。

- 妻…………… 1/2
- 長男…………… 1/2 × 1/3 = 1/6
- 長女…………… 1/2 × 1/3 = 1/6
- 次男…………… 1/2 × 1/3 = 1/6

シリーズ「相続」⑩
【5】妻と実子と養子に出した子がいる場合の相続
実子のうち誰かが養子に行ったケースです。現在の法律では、養子に行ったからといって実親との関係が切れてしまうことにはなっておりません。
したがって、この子は他の兄弟と同じだけ相続を受けられます。さらに養親の遺産も受けることができます。
ただし、昭和63年1月1日より施行された特別養子制度による養子の場合、実親子関係はなくなり、したがって実親の相続もできなくなります。

「金沢 杜の里」街づくり物語 あるプランナーの物語 ⑨

21 人のために

私自身の活動は、実際には街づくりという組織の中で今後のまちづくり活動について助言している程度であるが、土の中に埋もれた街づくりというレベルをほつきで払いながら見付け、地元という汽車を走らせているような感覚であろうか。

イベント開催の前では私の考え方に大きな変化があったように思える。

イベントの前は、仕事を一生懸命やっているのは、自分の技術力の向上のためにしているものであり、人のためにやっているというのは、結果的にこの一生懸命さが人のためになっているということであると考えていた。

ただし、これではやはり終えた仕事で自分の財産であることには間違いがないが、困難な仕事をやり遂げたことには喜びを感じることがないのに対し、人のためにやる仕事は、一つの目標に向かい、自分の意見を曲げられることはあっても、多くの人と喜びをわかち合えるものであり、良い意味での心の余裕が得られると考えられるようになった。

組合からのお知らせ

平成 10 年度の通常総会で、本組合の事業計画期間を平成 13 年度まで延長することが決定いたしました。

全国的に見ても事業期間の延長は珍しいことではないのですが、そのことに安堵することなく、鋭意努力していききたいと思います。

事業期間延長の大きな理由の一つであった田上第五地区との境界部分の工事問題も、調整がつき、平成 11 年度中には完了する目処がたちました。

一部地権者の宅地整備につきましては努力の甲斐なく平行線の状況となっておりますが、今後も積極的に交渉を進めていきますので、皆様のご理解をいただきたいと思います。

3mセットバック未整備区間の整備につきましては、地権者の同意が必要であり、未整備のまま組合事業の終了もありえますが、なにとぞ本地区の魅力向上のためにもご協力を重ねてお願い申し上げます。

児童会館・地域交流会館建設につきましては、金沢市でも平成 11 年度予算として設計費が計上されておりますので、本地区平成 11 年度通常総会で本地区分の予算計上を審議していただき、進めていきたいと考えております。